

2016年11月28日

船で世界へ！日本の防災食で世界を救う！

このプロジェクトは一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター(以下:PBV)が行う、「消費期限切れ前の防災食を回収し、国際支援で活用する」初めての試みです。今回集めた防災食は12月9日に横浜港を出発し、2017年2月12日に南米チリのバルパライソへ到着します。

東日本大震災以降、東京都内の多くの大企業は自社の社員向けに防災食を会社へ備蓄しました。しかし、その多くは5年が経過し入れ替えの時期になっています。企業の担当者からは、ただ捨てるだけではなく有効活用できなかとという声を多くもらい、今回は国際NGOピースボートの国際ネットワークと、大型客船による物流システムを活用し、2014年、2015年に南米チリで発生した大規模な山火事で被災し、貧困地域となってしまった地域コミュニティにて活用します。(現地受け入れは、南米コネクト:CEO 打村明氏を通じてバルパライソの地域コミュニティへ届けます)

またPBVでは「セーフティバンクプロジェクト」として、2015年より災害支援の経験を元に、企業や一般向けの防災備蓄食やグッズの販売も手掛けております。今回はその防災備蓄(10,420食)の入れ替えを、一般財団法人日本モーターボート競走会にご協力いただき初めて実現しました。PBVは民間支援組織として今後も国内外の災害時には現地への支援を実施します。

以下、プロジェクトの概要をお送りします。新たな循環型の防災備蓄の一步になるよう、ぜひ、当日の取材や報道など、ご検討ください。

■ 防災食で世界を救う 国際協力プロジェクト 概要

※物資の移動タイミングは2回あります。

<1回目> 支援物資を「センターから輸送トラック」へ積み込み

・日時:12月5日(月)16:30-17:30

・場所:ピースボートセンター東京(新宿区高田馬場3-13-1-B1)

<2回目> 支援物資を「港から大型船」へ積み込み

・日時:12月7日(水)17:00前後 積み込み時間は流動的です。

・場所:横浜港 大棧橋 国際客船ターミナル(横浜市中区海岸通1丁目1番4号)

※2回目の積み込み時の取材は、港の通関手続きの為、事前の取材申し込み(締切:11/30)が必要です。また手続きの関係で、下記項目の提出と当日の身分証明書(顔写真入り)をお願いしております。予めご了承ください。(必要情報:お名前、ふりがな、生年月日、性別、住所(自宅)、電話、会社名、顔写真データ)

◆その他、電話取材や写真のご提供等もお受けしております◆

● このリリースに関するお問い合わせは、

ピースボート災害ボランティアセンター
住所:〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-2F-A
電話:03-3363-7967 / mail: info@safetybank.jp